

国際食資源関連 「食べる講義」

食と文化と未来

講演者 ジャン・ロベール・ピット

(北海道大学特別教授・元フランスパリ第四大学(ソルボンヌ大学)学長)

主催 北海道大学大学院農学研究院

協力 北海道大学国際連携研究教育局食水土資源グローバルステーション

昨年北海道大学の特別教授に就任されたジャン・ロベール・ピット氏をお招きして、「食べる講義」を開催します。ピット先生の幅広いご専門分野を概観する講義の後には、先生のご要望で「食べる講義」として、北海道のワインとチーズに関するワークショップも開催いたします。食べることを通じてこれからの北海道、日本、世界の未来を考えます。

日時 2016年2月18日(木) 10時30分～18時

場所 北海道大学農学部食資源研究棟3階セミナー室 札幌市北区北9条西9丁目

内 容

第1部 集中講義 10時30分～16時 (参加無料・定員100名)

第1講「フランス人とガストロノミー」10時30分～

第2講「テロワール・持続的発展の哲学」13時～

第3講「地理学からみた食と人類の未来～若い世代へ伝えたいこと～」14時45分～

第2部 北海道の未来～チーズとワインのワークショップ～ 16時30分～18時

(参加費3,000円・定員30名)

その他 講演は英語で行われます。講義での通訳はございませんのでご了承下さい。

申し込み 下記まで参加希望の部、氏名、所属、メールを2/16にお知らせ下さい。参加費は当

日申し受けます。定員になり次第締め切らせていただきます。

問い合わせ 北海道大学大学院農学研究院 (小林国之)

FAX 011-706-2462 メール kobakuni@cen.agr.hokudai.ac.jp

演者紹介 ジャン・ロベール・ピット

1949年パリ市生まれ。パリ・ソルボンヌ大学卒業。文学博士。景観と食文化の専門家であり、パリ地理学会会長、国際地理学フェスティバル開発協会会長、食の遺産と文化のフランス委員会委員長を務めており、さらに、シャトー・デュ・クロ・ド・ヴージョで開催される『Livres en Vignes(ワインの本)』祭の代表者でもある。2011年には、フランス・ワイン・アカデミー会長となった。2003年から2008年までパリ第四大学(パリ・ソルボンヌ大学)学長。著作に『美食のフランス』、『フランス文化と風景(上下)』、『ボルドーVSブルゴーニュ せめぎ合う情熱』、『ワインの世界史』など多数。

